

News Release

2020年1月6日

当社代表取締役社長 登坂正一による、太陽誘電グループ従業員向けの「2020年 年頭挨拶」の内容を以下の通りお知らせいたします。

変化にしなやかに対応し、力強く未来を切り開いていこう

2019年は米中貿易摩擦、日韓対立、イギリスのEU離脱問題など政治的な動きや、それに端を発した経済への影響が懸念され、先行き不透明な1年となりました。また、多くの災害が発生し、子会社の福島太陽誘電も台風19号による浸水被害を受けました。これまで天災や事故などへのリスク対策を進めてきたものの、あらためて多くの課題が浮き彫りになりました。あらゆるリスクへの備えと安定供給に向けて、より強固できめ細やかなBCP(事業継続計画)の構築を進めていきます。

太陽誘電グループはこれまでセラミックスを中心に事業を展開し、さまざまな商品を生み出し今日まで成長を続けてきました。これらを支えてきたコア技術は今後生き残っていく上でも欠かせないものであり、今後も引き続き電子部品メーカーとして「ものづくり」を極めていきます。一方、お客様の悩みやニーズに寄り添ってソリューションを提案し、新事業創出につなげる「ことづくり」もさらなる成長を目指す上で不可欠です。ものづくり、ことづくりを通じて、SDGsなどをはじめとした社会課題の解決につながる事業活動へより注力していきます。

これからの世の中はさらに大きく変化し、わずか10年後でも今とは全く別の世界になっているかもしれません。そんな激動の時代だからこそ、皆さんにはどんなことが起こっても柔軟に対応できる力、レジリエンス(復元力)を磨いてほしいと思います。どんな世界に変わっていくのか常日頃から想像力を膨らませ、起こった変化にしなやかに対応していくことは生き残るための必須条件といえるでしょう。そして、一人ひとりが蓄えた力を最大限に発揮し、組織力を高めるためには、全員が会社の方向性を正しく理解し、皆さんそれぞれが果たすべき役割を全うすることに尽きます。

2020年度は中期経営計画の最終年度です。今後も積極的な設備投資を継続して生産能力拡大を進めるとともに、生産性改善活動「smart.Eプロジェクト」にも取り組んでいきます。お客様に信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニーとなるため、全員で進化を続けていきましょう。